



果樹苗木の植え方

果樹は一度植えつけると、少なくとも10年以上は同じ場所で栽培を続けます。栽培期間中に樹を植えかえたり、根を掘り起こすのは難しい。成木になった姿を想像しながら、適切な間隔で定植をしましょう。

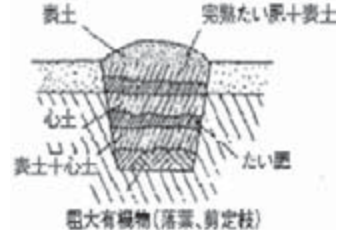
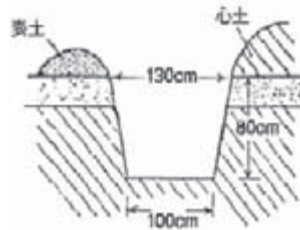
**植える時期と場所** 3月中旬。(冬季の冷え込み・乾燥が厳しい地域では凍害の心配のない春植えをしましょう。) 日当たりが良く排水の良い場所。(できれば午前中に日光が当たる場所)

**植えつけ準備** 苗木の定植前には傷んだ根を取り除き、根を水に一日浸けて吸水させておく(ポット苗は不要) 根を乾燥させないように注意して植えつける。すぐに植えない場合は、風当たりが少なく、水はけの良い場所に**仮植え**しておく。多くの果樹では、一品種だけ植えても果実が結実しにくい性質があるため、2つ以上の品種を受粉用として混ぜて植えましょう。

受粉樹を必要とする代表的な果樹と品種  
 栗(銀寄・丹沢・筑波…) さくらんぼ(佐藤錦・ナポレオン・高砂…) 梨(幸水・豊水…) りんご(ふじ・つがる・デリシャス…) キウイ(雌木と雄木)

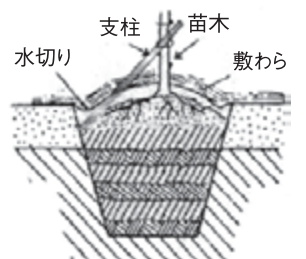
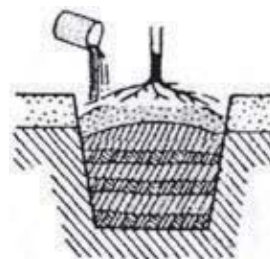
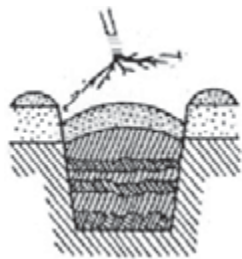
苗木の植え穴の準備

苗木を植えつける2ヶ月～1ヶ月前に、右図のように大きな穴を掘り、下層部には落葉や剪定枝などを、その上には掘った土に堆肥(20%)や石灰(5%)、ようりん(5%)を混ぜて埋め戻しておく、土に馴染ませておく。



苗木の植えつけ方法

深植え厳禁!!



- ①埋め戻した植え穴を苗木の根が入る大きさに浅く掘る。苗木を植えたときに根の周囲が下がるように、穴の底を丘状に中央を高くしておく。
- ②生育中に樹が沈んだり土が流れ込み、接木部が土に埋まると樹勢が弱まる。
- ③苗木を植え穴に置き、根を広げ、土を入れて根と土に隙間がないように軽く踏み固める。途中で灌水して根と土を馴染ませる。敷きわらや堆肥等で被覆する。
- ④支柱を立て、風で根が動かないように固定する。

**植えつけ後の管理** 植えつけ後はたっぷり水を与えます。それ以外はひどく乾燥しているときだけ灌水しましょう。果樹を植えてもすぐに実はなりません。早くても結実するまで3年程度はかかりますが、もっと長くかかる品種もありますので整木・剪定など季節の作業、栽培管理を行い気長に育てる気持ちを大切に栽培して下さい。

《代表的な果樹の結実までのおよその年数》

栗	3年	プラム	3～4年	柿	4～5年	カリン	4～5年
桃	3年	さくらんぼ	4～5年	ビワ	4～5年	みかん	5～6年
梨	3～4年	ゆず	4～5年	キウイ	4～5年	りんご	5～7年

◆詳しくは各購買店舗または能勢営農経済センターでお問い合わせ下さい。◆